

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・校内研究（算数）を中心とした授業実践を通して、学習指導要領に根ざした学びやその指導法、学習過程等の共通理解を図ることができた。より一層の基礎学力の定着と活用する力の育成、および、「学び合い」に対する理論研究、共通理解とそれらを取り入れた授業展開の工夫等、更なる深化を図っていききたい。</p> <p>・教育相談や特別支援教育及び個別の支援について、学校全体での体制作りや組織的に対応することの重要性について共通理解を図ることができた。また、保護者との連携を密にとり、協力を得ることができた。関係機関と連携しながら、更に体制の確立と充実を図りたい。</p> <p>・学力向上地域指定事業（算数）での取組を中心とした学び合い活動を他教科、領域に広めるとともに、コミュニケーション能力等、これからの社会で必要な力を身につけさせるための共通理解と共通実践に取り組みたい。</p>
2 学校教育目標	<p>自ら学び、たくましく、心豊かな児童の育成 ～ 校訓：『心 きびきび 精一杯』～</p>
3 本年度の重点目標	<p>①「わかる授業」を基盤とした基礎的基本的な学習内容の確実な定着（日常の授業と家庭学習の連動）</p> <p>② 学校及び家庭の教育力を高める組織的な教育相談体制の確立と個別の支援体制の充実（いじめの未然防止等を含む）</p> <p>③ 運動の楽しさを実感できる体育学習の充実と運動の日常化(体つくりの奨励等)</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、授業実践を行う。また、校内研究及び学力向上対策委員会による取組のより一層の推進を図る。							学力向上コーディネーター 研究主任
	○学習内容の定着に向けた「わかる授業」の実践と授業改善	○「授業中、めあてを持って学習し、学習した内容を振り返ることができている」と回答した児童80%以上	・「学力向上対策4つの取組」リフレットを踏まえ、「授業づくり1.2.3」を活用して、全教科において、めあてを提示し、学びの振り返りを設定する。 ・学力向上たよりを発行し、保護者の理解を得る。							学力向上コーディネーター 研究主任
	○読書活動の充実・発展	○図書室からの貸出冊数について、前年比10%増とする。	・図書室だよりでの啓発や家庭での自主学習における読書の推奨を行う。 ・図書室、読書への関心を高めるため、子供の意見を取り入れた図書の整備を行う。							各担任 図書館教育担当
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・ふれあい道徳や道徳に関するアンケートを実施する。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等を実施する。							道徳教育推進教師
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○教育相談及びいじめ防止等について組織的な対応ができていると回答した教員80%以上	・いじめ防止マニュアル等にもとづいた未然防止と早期対応による共通実践を図る。 ・教育相談月間の実施による児童理解に努める。 ・連絡会及び事例研究会等の開催による情報共有を図り、教育相談だよりの発行等により、保護者へ理解を促す。							道徳教育推進教師 生徒指導 教育相談
	○児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「夢や目標をもって学校生活を送る(4年～6年)」について肯定的な回答をした児童(6年生)80%以上	・特別活動を核として、自分の夢や目標の実現を目指して意欲的に取り組もうとする態度を育むキャリア教育を推進する。 ・コミュニティスクールを活用し、学校と地域が一体となった体験活動などにより、郷土への誇りと愛着を育む。							教頭
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツをおこなう時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上	・運動の楽しさを実感できる体育の授業づくりを行い、学習との関連付けにより、運動の日常化を図る。 ・縦割り班活動を通し、体を動かすことの楽しさを取り入れた活動を実践していく。							体育主任
	○望ましい食習慣と基本的な生活習慣の形成	○朝食をとって登校する児童80%	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健だよりを発行し、保護者の協力を得る。							給食担当 食育担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定と年休等の取得促進を図る。 ・校時程を有効活用し、学級事務・成績処理の時間の確保に努める。							教頭
	○業務改善と環境整備に向けた取組	○働き方に対する改善が図れたと考える教員80%以上	・校務分掌に添った各部会の業務内容、役割分担を見直し、再編成を図るとともに、適宜、組織の点検、改善を行う。							教頭

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する知識や支援のあり方が向上したと考える教員80%以上	・個別の支援計画にもとづく支援体制を構築し、校内の連携を図る。 ・特別支援教育に関する研修会、ケース会議等を開催し、情報の共有化を図る。							特別支援教育コーディネーター

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------